

令和5年度 東京都小学校体育研究会 夏季合同研究会
多様な動きをつくる運動（遊び）領域部会

東京都小学校体育研究会 研究主題

「互いに学び合い、
自らの学びを深めていく体育学習」



【実証授業】

日 時 令和5年11月21日（火）13時45分開始

場 所 墨田区立菊川小学校

（最寄駅：JR総武線・錦糸町駅徒歩15分 都営新宿線・菊川駅徒歩7分）

授 業 体づくり運動「多様な動きをつくる運動遊び」

授業者 第1学年1組 村上 太基教諭

本部会のHPはこちらからアクセス！→



1 『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実」の捉え方

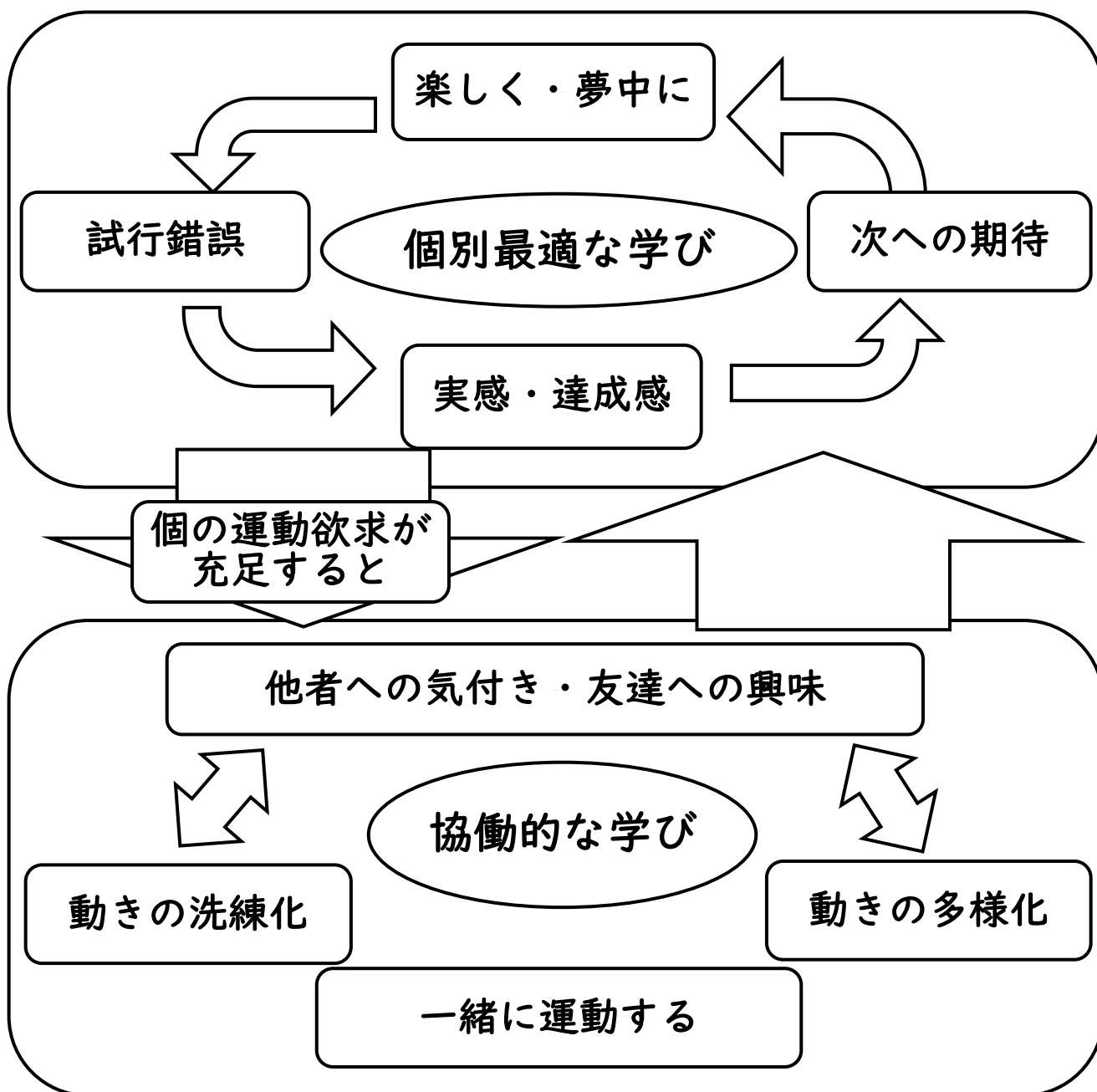
（1）多様な動きをつくる運動（遊び）部会における研究主題の捉え方

多様な動きをつくる運動（遊び）の特性から、学習中は個別の学習課題に取り組む姿が多く見られる。それぞれの子供の「運動欲求」が充足すると、子供は周りに目を向け始める。そこに、教師が働きかけることで、友達との関わり（協働的に学ぶこと）に価値があると気付かせてあげることが大切であるとする。

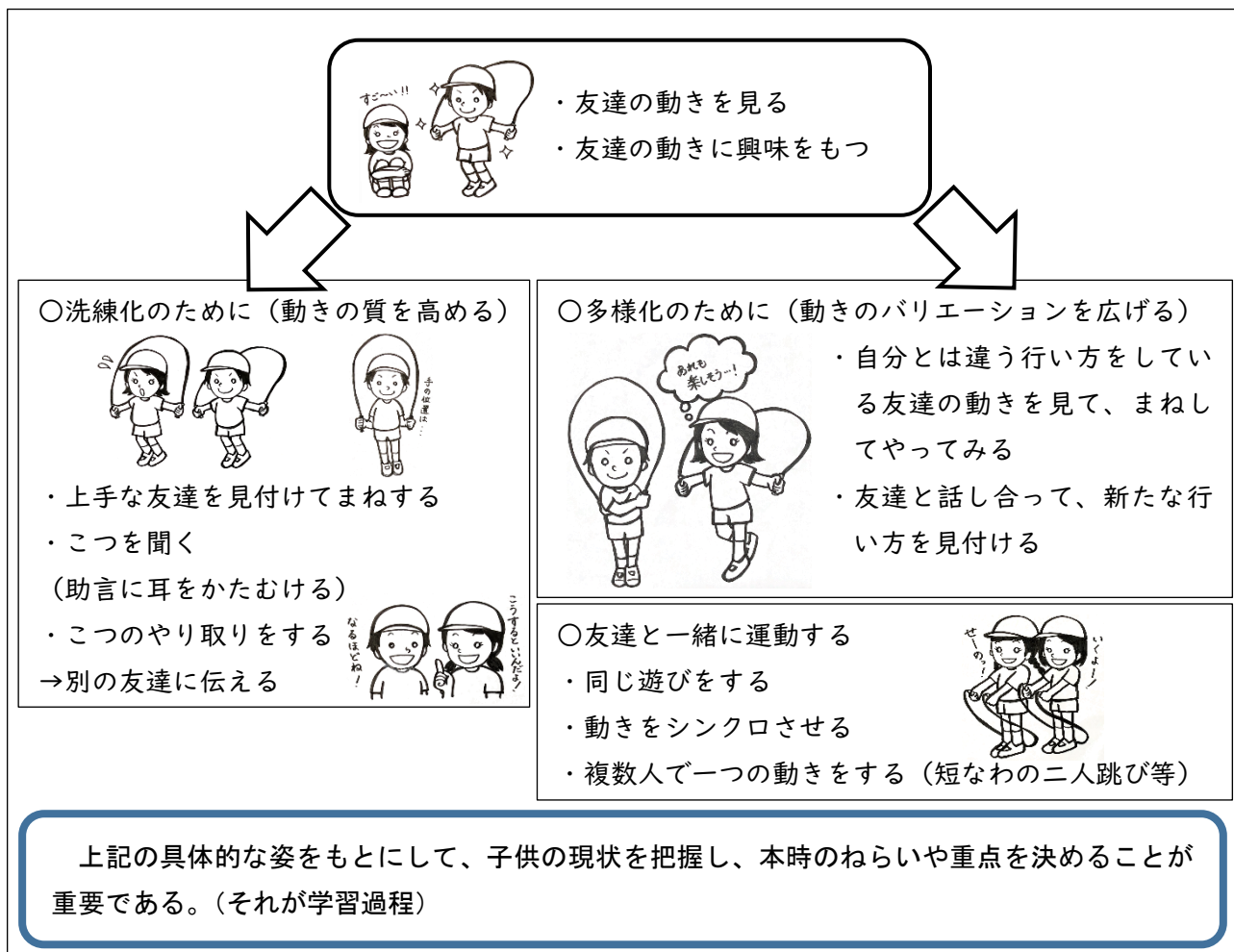
「互いに学び合う」 …一緒に運動する 友達のまねをする 自分の考えを伝える

「自らの学習を深める」…やりたいことを見付け、自分なりの解決方法を見いだす
既習の知識や技能を生かす（学びの引き出しを増やす）
自分から楽しさを生み出すことができる

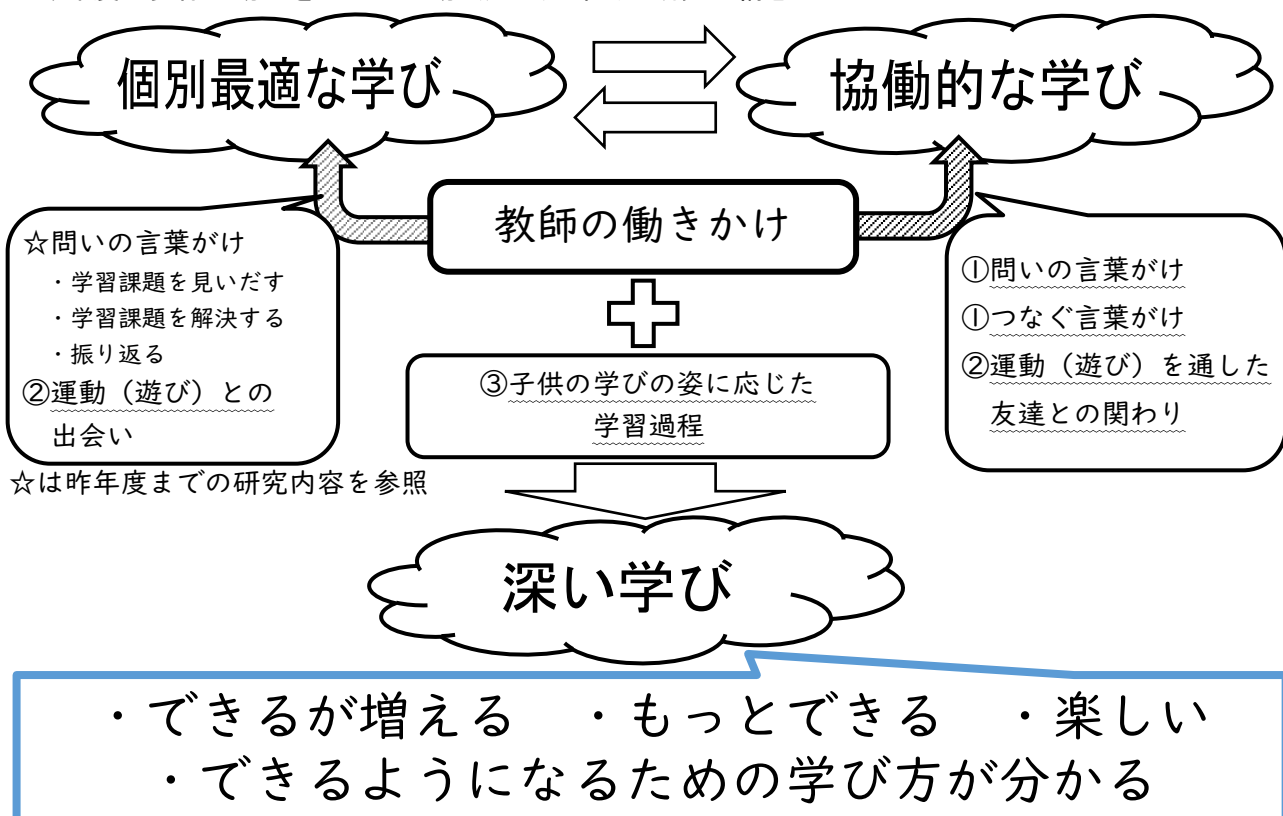
（2）「個別最適な学び」と「協働的な学び」の姿の図



(3) 協働的な学びの具体的な姿



<今年度の多様な動きをつくる運動（遊び）部会の研究の構想>



2 研究の手立て

(1) 協働的な学びを促す「問いの言葉がけ」＋子供同士の対話を促す「つなぐ言葉がけ」

協働的な学びを促す「問いの言葉がけ」

○粘り強く取り組んでいるが、こつへの気づきが不十分

→「上手にできている友達はあるかな？」

○行い方を広げようとしている

→「まねしてみたい動きはあるかな？」

子供同士の対話を促す「つなぐ言葉がけ」

○人数の工夫をしたり、動きを洗練化したりしようと試行錯誤している

→「〇〇さんも同じ動きをしていたよ。こつを聞いてみよう」

○動きや思考が停滞している

→「〇〇さんの動きがおもしろそうだけれど、やってみない？」

(2) 運動（遊び）との出会い＋運動（遊び）を通した友達との関わり

① 運動（遊び）との出会い

☆子供の「やってみよう」（運動欲求）に火を点ける
＝楽しい！夢中になれる！

○簡単、誰でもすぐにできる

→説明がいらない！（もしくは端的な指示）

○勝敗にこだわらない

○子供がアレンジできる！（動きや行い方）



「シン・運動遊び例集」

①学習環境	②学習に勢いを生む導入
【わくわくするような単元設定 提示物の例】  ※単元設定や提示物などを工夫して、楽しい雰囲気をつくることで、子供の運動欲求に火をつける。	心と体をスイッチオン！ ◎強制的な指示 ・短い言葉で指示・説明（運動量の確保） ・活動と活動のつなぎ（体じゅんげんの活用） ◎解放感 ・はじめは先生と楽しく、色々な動きを楽しむ ・友達同士が関わる動き（2人組、ハイタッチ） ◎動きの要素 ・ジャンプ、スキップ、ダイナミックな動き ◎音楽・リズム太鼓等 ・BGMを活用した準備運動、場の準備・片付け等
③取遊び	④合言葉
「幸せなら手を叩こう」（座る・立つ） ♪幸せなら手を叩こう ♪幸せなら手を叩こう ♪幸せなら 背中を叩けよう♪ ♪ほらみんなであって（すわって） みよう セーの！ ※二人組で背中を叩くつなぐまわったりする。 「人工衛星」 ♪人工衛星 人工衛星 とへへへれ ※4～5人で手を組む。 引っぱり合って相手を取ります。 ※取の中に身に付けさせたい動きを取り入れ、リズムの楽しさを味わいながら効率的に運動できるようにする。	いつでも どこでも だれとでも！ ◎活動に勢いを付ける ・「〇〇へ レッグゴー！」 ・「やってみよう！」 ◎楽しい雰囲気のまま指示を伝える ・「トントントン トントントン 聞いて」 ・「お友達を覚えて ○人組」 ◎みんなで友達を称賛する ・「せーの」 パンパン ナイス！！ ・「せーの」 キラーン！！

② 運動（遊び）を通した友達との関わり

○友達と関わる機会をつくる

「一緒にやる」「一緒に選ぶ、決める」「いろんな友達とやってみる」と友達と関わることの価値に気付けるように、教師対子供全員→ペア→グループのように友達と関わる機会を意図的に設定する。



※運動遊びを豊かに広げていくための大切な流れ

○友達の動きを見る、まねをする、取り入れる

運動遊びの中にも、上手な動き（動きのこつをつかんでいる）がある。教師はその動きを見逃さず、絶え間ない称賛と共有を通して、協働的な学びの素地を培っていくことが大切である。

(3) 子供の学びの姿に応じた学習過程の変容

<自ら学びを深めるための学習の流れ>

- ・単元の構成（前半 10～15 分にバランス・移動・力試しの運動、後半 20～25 分で用具操作という組み合わせを 4～5 時間の小単元で構成する。具体的な内容の配列は過去の単元の指導計画を参照）
- ・一単位時間の流れ（やってみる→学びを価値付ける→もう一度やってみる→振り返る）

<子供の学びの姿に応じた学習過程の変容>

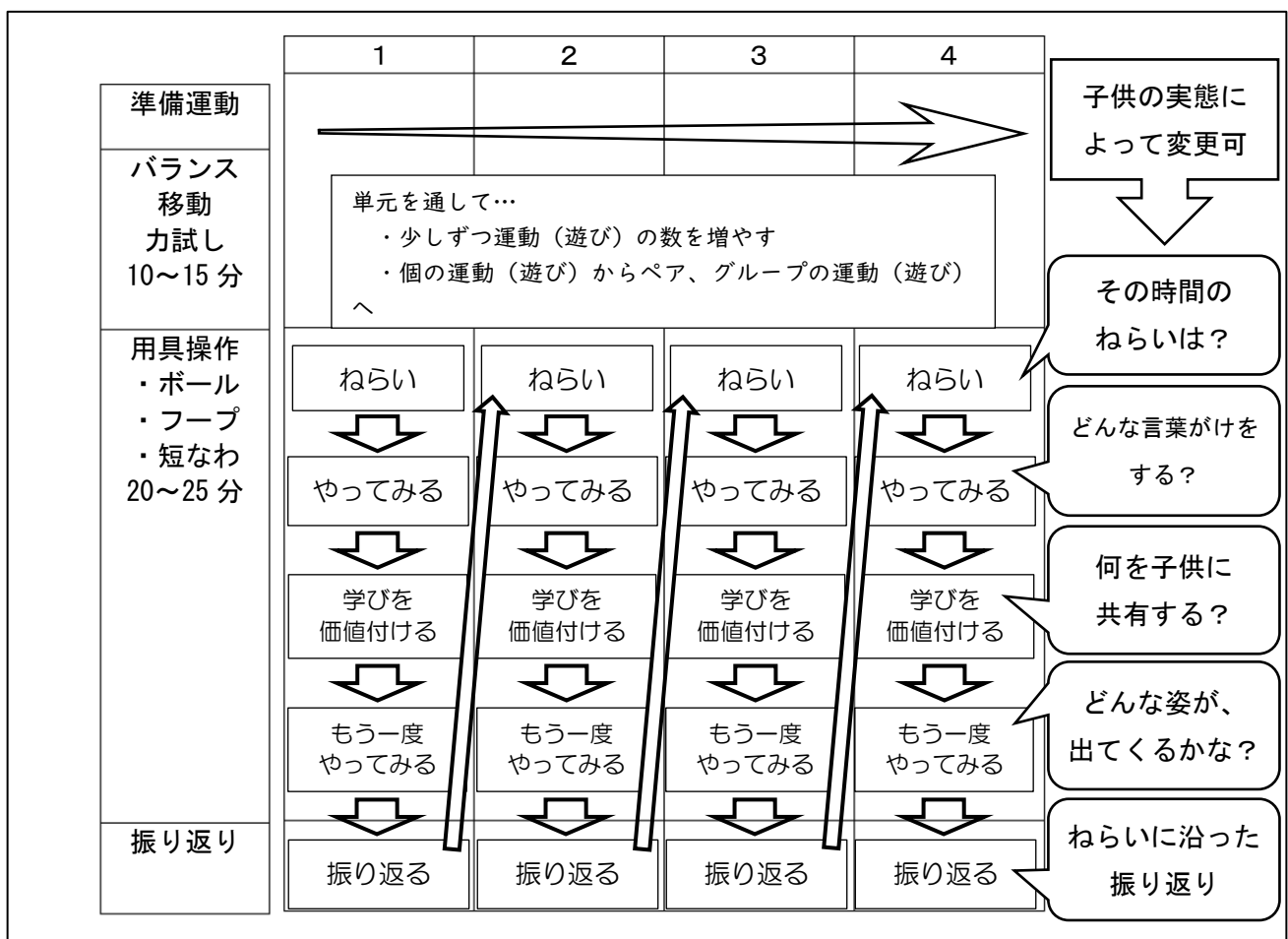
まず、子供の実態や運動経験等をもとに①～③の流れで授業案を作成する。

次に、実際の授業での子供の学習状況などを踏まえて、次時のねらいが実態に沿っているかを吟味し、修正・改善をする。

- ①小単元でどのような運動（遊び）を扱うか考える
 - ②4～5時間のねらいを考える
 - ③毎時間のねらいに沿った主発問や価値付けたい内容を考える



- ④毎時間の授業後に、子供の学習状況、学習カードの記述などから次の時間のねらいを吟味する
→単元の目標から外れない範囲で修正・改善



3 実証授業（12／19）

（１）本時のねらい

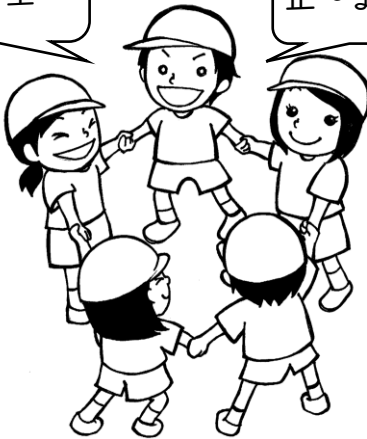
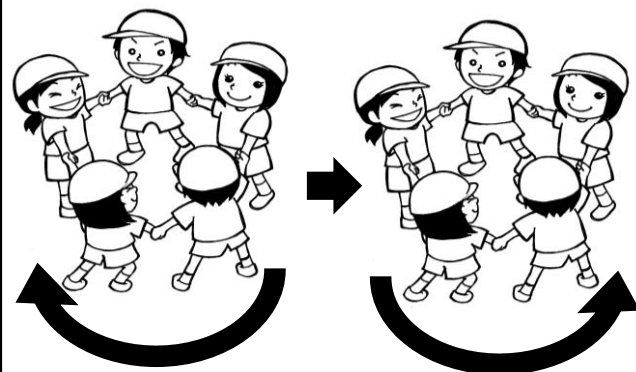
○より楽しく運動遊びができるように、行い方を工夫したり、友達の動きを見て、自分がまねしたい跳び方を見付けたりすることができるようにする。【思考力,判断力,表現力等】

（２）本時の展開

学習内容・活動	○教師のかかわり ◎配慮子供への支援	□評価（方法）
1 準備運動をする。	○曲に合わせて体を動かし、心と体のスイッチオンができるようにする。	
2 「体のバランスをとる運動遊び」、「体を移動する運動遊び」に取り組む。 「５歩鬼」「陣取りじゃんけん」「人工衛星」	○「いつでも・どこでも・だれとでも」を合言葉に友達と一緒に運動している子供を称賛する。 ○説明は端的に、どんどん活動に取り組む。 ○「５歩鬼」では、４歩目で大きく踏み切ること、５歩目でピタッと止まるように言葉かけをする。 ○「陣取りじゃんけん」では、他のグループとぶつからないように安全なスペースを見付けているグループを称賛する。 ○「人工衛星」では、安全面から手首をつかむことを子供に伝え続ける。 ◎友達に目を向けられるように、上手な動きをまねすることを伝えたり、動きのポイントについて具体的に助言したりする。	
3 「用具を操作する運動遊び」に取り組む。（短なわ） 『どんな跳び方があるかな？』 ・こんな跳び方をやってみた ・〇〇さんはこんな跳び方をしていた 〈やってみる時間〉 ↓ 〈学びを価値付ける時間〉 ↓ 〈もう一度やってみる時間〉 ※子供の学習状況によってこのサイクルを繰り返す。	○前時の子供の振り返りから、本時のねらいに沿った発問を行う。 〈やってみる時間〉 ○友達の動きを見たり、まねしたりしている子供を称賛する。 ◎いろいろな跳び方に取り組めるように、具体的な跳び方を提案したり、友達の跳び方を紹介したりする。 〈学びを価値付ける時間〉 ○本時のねらいに沿った子供の姿を紹介し、全体に共有する。 ○子供の動きのこつはオノマトペを使って共有する。 ⇒ドンドンではなくて、つま先でトントン跳ぶよ。 〈もう一度やってみる時間〉 ○振り返りを生かせるように、もう一度やってみる時間を確保する。 ○共有した姿を見取り、子供を称賛する。 ◎全体で共有したことについて、個別に確認する。	□より楽しく運動遊びができるように、行い方を工夫したり、友達の動きを見て、自分がまねしたい跳び方を見付けたりしている。 【思考・判断・表現】 （観察・発言・学習カード）
4 片付け・整理運動をする。 5 振り返りをする。	○本時のねらいに沿った振り返りになるように、本時の発問をもう一度確認する。 ◎学習カードへの記入が難しい子供には、取り組んだことを個別に聞く。	

4 シン・運動遊び例集

新しい運動遊びを紹介するだけでなく、実際に先生方が授業の中で活用することができるように、「バランス」「移動」「力試し」の運動遊びを視覚的にも分かりやすくなるよう制作している。本部会の重点である「問いの言葉がけ」も併せて示しているので、たくさんの方にご活用いただきたい。下記のものは、例示の一つである。

バランス 移動 力試し		
回る 寝転ぶ・起きる 座る・立つ バランスを保つ		
1 人工衛星 問い ・どうやったら動かない？ ・足は？腰は？  安全 ・手が離れないように手首と手首をつかもう。 ・倒れそうなときは無理せず一歩前に出よう。	ポイント> ○腰を落とす ○足を開いて力を入れる 人数：5～6人 時間：5分程度 称賛 ・腰をぐっと落としていていいね！ ・すごい！動かないね！	人工衛星 人工衛星 止～まれ！ 助・支 ・膝をぐっと曲げてみよう。 ・「人工衛星」と元気よく歌おう。
 ↓ 		
反対に回る 	回らないでジャンプする 	

〈多様な動きをつくる運動（遊び）領域部会へのご参加をお待ちしています！〉

本部会では、子供たちが「楽しく基本的な動きを身に付ける」ことができるように、遊びを開発したり、授業改善を行ったりしています。いつでも新規部員を募集しています。ぜひ、一緒に研究をしませんか？

多様部会 HP で、授業資料を UP しています。

東京都小学校体育研究会 多様

検索

【多様な動きをつくる運動（遊び）指導資料】

これまでの研究で作成した資料をダウンロードすることができます。授業に必要なものをダウンロードして、ご活用ください。

- ・「宝の地図（H28）」 ・「ランドの地図（R4）」
 - ・「ひと目でわかる！イラスト版学習過程（R3）」
- ※教師と子供の授業中のやりとりを視覚化したものです。一単位時間の流れを「問いの言葉がけ」を活用して示しています。



- ・「価値付けガイド」
- ※授業前や授業後に価値付けることの把握し、「動きのこつ」を理解するためのものです。
- ※動きのこつは、「子供の声」から集めました。



- ・「授業ヒントシート」（令和元年度改訂）
- ※授業の振り返り、学級全体の子供の学習状況の把握をし、「よい動き」を理解するためのものです。



- ・「言葉がけ動き例集」
- ※例示の動きや始めに取り組む動きができている子供を見付け、どのように教師が子供に言葉がけを行っていくのかを理解するためのものです。



- ・「運動遊び例集（H26）」
- ※教師の言葉がけの例や動きの工夫の例から、どのように「運動遊び」に取り組むとよいのかを理解するためのものです。



- ・「運動遊び例集（H25）全国大会編」
- ※教師の言葉がけの例や動きの工夫の例から、どのように「運動遊び」に取り組むとよいのかを理解するためのものです。



- ・研究内容「実証授業資料（H28～R4）」
- ※部会の研究内容をまとめたものとなります。研究の経過や継続している内容などもご覧いただけます。



R1 実証授業資料

R4 実証授業資料